教科	こころとからだの理解②	学科・学年	社会福祉科・3年	単位数	1単位
目標	障害や疾患についての基礎的な知識を習得するとともに、生活支援に必要な知識と技術を身に付け、心理的・社会的ケアについての理解を深める。				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト（中間・期末・学年末） ・授業を受ける姿勢、ノートやプリントの状況、課題の提出状況 ・授業の出席状況 <p style="text-align: right;">などから総合的に評価する。</p>				
評価観点	<p>【関心・意欲・態度】 障害について関心を持ち、学習内容理解のために意欲的に取り組む態度を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 障害や疾患について思考を深め、適切な介護方法との関連性について考え、説明することができる。</p> <p>【技能】 学習内容について、専門用語を用いて適切に表現することができる。</p> <p>【知識・理解】 障害や疾患についての基礎知識を身につけ、日常生活との関連性や介護技術との関連性を理解している。</p>				
使用教科書	障害の理解（メヂカルフレンド社）				
使用副教材	なし				
月	学習内容	学習のねらい	学習活動		
4	オリエンテーション 《障害の理解》 4 視覚障害のある人の理解	☐ シラバスの活用の仕方を理解する。 ☐ 『こころとからだの理解』の学習の仕方を理解する。 ☐ 視覚障害の基礎知識を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用ファイルの作成 ・授業プリント作成 		
5		☐ 視覚障害のある人の心理を理解する。 ☐ 視覚障害者の日常生活支援を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・中間テスト [点] 		
6	5 聴覚障害のある人の理解	☐ 聴覚障害の基礎知識を理解する。 ☐ 聴覚障害のある人の心理を理解する。 ☐ 聴覚障害者の日常生活支援を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント作成 ・小テスト [点] 		
7	6 言語に障害を認める人の理解	☐ 言語障害の定義と分類を理解する。 ☐ 言語に障害を認める人の心理を理解する。 ☐ 言語障害者の日常生活支援を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト [点] ・自己評価 A☐ B☐ C☐ 		
反省					

8・9	7 発達障害のある人の理解	☐ 知的障害を伴う発達障害のある人を理解する。 ☐ 知的障害を伴わない発達障害のある人を理解する。 ☐ 発達障害に合併する障害を理解する。	・授業プリント作成
10	10 全介助を要する人および難病の人の理解	☐ 認知系に障害を認める人を理解する。 ☐ 行為系に障害を認める人を理解する。 ☐ 寝たきり状態を理解する。 ☐ 難病を理解する。	・中間テスト [点]
11	11 障害者介護における連携と協働	☐ 地域におけるサポート体制を理解する。 ☐ チームアプローチを理解する。	・授業プリント作成 ・小テスト [点]
12	12 障害者をもつ家族への支援	☐ 障害受容の過程を理解する。 ☐ 家族の介護力の評価と援助を理解する。	・期末テスト [点] ・自己評価 A ☐ B ☐ C ☐
反省			
1	《国家試験対策》	☐ 国家試験の過去問題を分析する。 ☐ 国家試験模擬問題で7割以上正解する。	・国家試験模擬問題 [点] ・学年末テスト [点]
2		☐ 国家試験の自己採点をする。 ☐ 国家試験の問題を分析する。	
3			
反省			